

埼玉県新座市シルバー人材センター会報

# ゆうゆう通信

2025年1月15日 第122号



志木駅南口のスクランブル交差点。左奥が駅舎

— 目次 —

- 2頁 新年の御挨拶「変化の波を乗り越えて」
- 3頁 委員会トピックス「リーダー研修・交流会」「後見人養成講座フォローアップ」
- 4頁 輝くシニアの時代「尺八に書道、スポーツ・・・八面六臂の活躍」
- 5頁 輝くシニアの時代「27地区の新堀小学校農園応援団」
- 6頁 新・健康ニュース「高齢者相談センター」
- 7頁 言いたい放題 時事呆言「思い出に残る食べ物は？」
- 8頁 ゆうゆうエンタメ「シビル・ウォー アメリカ最後の日」「田中一村の絵に鳥肌」  
「料理店でひとめ惚れ」「血潮の城壁に汗まみれの組み石職人あり」
- 9頁 私のふるさと・我が忘れ得ぬ旅
- 10頁 再発見！美しき新座写真展
- 11頁 親睦会だより
- 12頁 SC掲示板「理事会報告／地区活動のトリセツ／編集後記／表紙の眩き／訃報」



# リーダー研修 交流会

第21回リーダー研修・交流会が令和6年10月23日、新座市民会館で開催された。コロナ禍により2、3年度は研修会も交流会も中止となり、4、5年度は研修会のみで開催となったため、交流会までセットで開かれたのは5年ぶりだった。

ホールでの研修会には、役員と各委員会、地区、職群班、親睦会から約120



研修会で講演する新開省二・女子栄養大教授

人が参加。女子栄養大学の新開省二教授が「フレイル予防で健康長寿」と題して講演した。高齢期の生活機能低下からくるフレイルに参加者の関心は高く、熱心に耳を傾けた。会議室に移っての交流会には約60人が参加。講演で



紹介されたフレイル予防の10食品群の頭文字を並べた合言葉「さあにぎやか(に)いただく」を、福島和男理事長が早速引用してあいさつ。一気に会場が和み、参加者は卓上の酒肴に手を伸ばしながら歓談した。ちなみに食品群は▽魚▽脂▽肉▽牛乳▽野菜▽海藻▽芋▽卵▽大豆製品▽果物。

(梁川)



交流会場で歓談する来賓の並木傑・新座市長 (左から2人目) と福島和男理事長 (同3人目)

## 後見人養成講座 フォローアップ

令和6年10月28日・29日の2日間、センター会議室に於いて、研修会が開かれた。

初日は宮内康二先生を講師に迎え、午前中は「制度開始から現在までの変遷」として、ターニングポイントとなる事件や法改正を取り上げ制度の歩みを時系列

に詳しい説明がおこなわれた。午後から「実例に見る成年後見の制度の裏事情」と題して、制度の理想と現実・メリットとデメリットを浮き彫りにした講話になり、受講者に怒り、驚愕、共感など、感情を揺さぶるシーンが続いた。



講師の宮内康二氏

2日目午前中は斎藤眞由美先生を講師として迎え、予め受講者のアンケートによる疑問・質問に答える形で復習を兼ね、制度運営の前向きな重要性に言及された。

午後から斎藤先生をオブザーバーとして同席して頂き、成年後見委員会のメン

バーからの活動報告が行われた。煩雑な事務方の業務



齋藤眞由美氏

は重要であるが、目に見えない被後見人とのやり取りが披露された。一つの案件を複数の担当者がリレー方式で継続していくのは法人後見人の最大の強みであるが、発表者の実体験に基づく、語り口は感動的であった。

一口に相談と云うが、その奥に努力や情熱を持続し、多くの事例を知る事によってのみ良き後見人・良き相談者になれるとの思いを新たにされた。受講者の心を揺さぶる2日間の研修であった。

(太刀川)

輝くシニア  
の時代



尺八の大師範免状を持つ加納さん



邦楽連盟の演奏会にて（左が本人）。演目（めくり）は加納さんの筆

かのう ひとし  
加納 均さん

茨城県稲敷市出身／昭和23年  
7月9日生まれ・76歳  
野火止8丁目在住  
平成26年5月30日 新座市シル  
バー人材センター入会  
筆耕・1級賞状技法士／尺  
八・竹師（社団法人日本尺八  
連盟）

— 尺八に書道、スポーツ・・・八面六臂の活躍 —

学校を卒業してから陸上自衛隊に入隊、横須賀から各地を転勤し沖縄を経て市ヶ谷。54歳・3等陸尉で定年退職、その後7年間警務官として総理官邸勤務をへて民間の銀座賞状センターに入社されたそうです。驚きは、兄弟の皆さんが自衛隊勤務だそうです。お兄さんが陸上で、弟さんが海上。そして弟さんの二人のお子さんは防衛大を出て今は海上と航空の幹部だそうです。ここまでお聞きして体格が良いのに合点がいました。

ご本人は「書道家」でもあります。「書」は家系だそうです小さい頃から好きで、市ヶ谷勤務の時にサークルの先生に付き本格的に書道を始められたそうです。今は「日本書道教育学会」の会員で、シルバー事務局を始め多方面から「筆耕」をお願いされているそうです。因みに奥様もシルバーの会員です。

もう一つの特技は尺八の演奏です。沖縄勤務の時にサークルが有り、その時の指導の先生に勧められ昭和52年に「日本尺八連盟」に入会。とんとん拍子に59年には「皆伝」（免許皆伝）となり、平成9年には「大師範」に上り詰め、竹号は「加納空山」。演奏会は都内及び近郊で毎年行っています。奥様との出会いは、市ヶ谷勤務の時に宮城道雄邦楽の会でお知り合いになり、本人曰く「現地調達」だそうです。

普段は週2回バドミントンのサークルで汗を流し、時には友人たちとカラオケをしているそうです。また「仏教」に大変詳しく、真言宗の信者でもいらっしゃいます。真言「おん・あ・び・ら・うん・けん」と唱えると病が治るし成仏もするそうで、これが最大の長生きの秘訣のようです。人との会話を楽しみ、そしてストレスを貯めない事も大事だそうです。（館）



2024年6月、父母らも参加したジャガイモ掘りの後に記念撮影（楽農会提供）



新堀小ファームで作物を見る（左から）塚田友徳副会長、若林寿校長、小池昇顧問、古内恒雄名誉会長、瓶子信一郎作業指導



2024年5月、ミニ大根を全部採った（楽農会提供）

## — 27地区の新堀小学校農園応援団 —

新座市立新堀小学校（児童数約450人）の体育館の裏で、地元第27地区の有志約15人でつくる「楽農会」が野菜を育て、児童や父母たちと収穫を楽しんで交流している。「地域とともにある学校」を掲げる若林寿校長が、着任した2022年から進める「学校応援団」活動の第1号で、地区の会員が下校時に続けている児童見守り活動が基礎になった。

27地区（西丸弘次地区長）の見守り活動は熱心で、毎週水曜の午後2時半から1時間、新堀の3カ所に2人ずつが立つ。新任の若林校長が見守り活動のお礼などを言うために地区長と地区委員の会議を訪れて話す中で、体育館の裏にあって使われずに荒れてしまったビオトープの土地で畑がやれないかという話になった。見守る地域の人たちと子どもたちがつながる居場所づくり、活動の拠点にという構想だ。

数年前から新座市シルバー人材センターの裏の畑を借りて農作業をやっていた地区委員の塚田友徳さんは「それはいい、と応じました」。新堀小の用務員だった今野孝昭さんが会長、塚田さんが副会長になり、楽農会が発足した。

しかし、ビオトープの一画は草が伸び放題で素人では手が付けられない状態。そこで若林校長が市教委に頼んで業者が整地し、2023年春に最初の作物のイチゴを植えた。

楽農会のメンバーは毎週月曜朝9時に、この「新堀小ファーム」に集まる。その日は「楽農会をやっている」と校内放送があり、子どもたちは少し長い休み時間にファームに飛んでくる。作業指導の瓶子信一郎さんら4人は新堀小の用務員で、日々の手入れもぬかりはない。育てた野菜は無農薬で、ニンジン、ミニ大根、ほうれん草、トマト、玉ねぎ、ナスなどにぎやか。月1,000円の会費を運営に充てる。

会の顧問の小池昇さんは「有志何人かで始めた、校長との共同制作。短い間に児童を交えて玉ねぎを採ったりイモを掘らせたりできるようになった」と感慨深げ。塚田さんは「私たちは作る楽しみ、子どもたちは採る楽しみ。楽農会は今の私にとって生き甲斐です」と話した。（梁川）

**新・健康  
ニュース**

**高齢者に関する相談は、お近くの高齢者相談センターへ  
新座市介護保険課介護予防係**

**高齢者相談センター（地域包括支援センター）とは**

高齢者相談センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるように、介護・福祉・保健・医療など、様々な面で支援を行うための総合相談機関です。保健師（経験のある看護師）、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどがそれぞれの専門分野を活かして支援を行っています。

「妻の物忘れが多くなってきた…これって認知症?」、「顔見知りの〇〇さん、最近姿を見ていないけど元気かな…」などお近くの方が心配になった時には、お住まいの地域を担当する高齢者相談センターにお気軽にご相談ください。

**高齢者相談センターの4つの役割**

**さまざまな相談ごと  
（総合相談支援）**

高齢者の皆様やご家族、地域の方からの相談やお悩みにお応えし、情報提供や必要なサービスなどへの橋渡しを行います。

**介護や健康のこと  
（介護予防ケアマネジメント）**

高齢者の皆様の心身の状態や介護度に合わせた介護予防の取組を紹介したり、介護サービス利用の支援を行います。

**権利を守ること  
（権利擁護）**

虐待や悪質な訪問販売などの被害を防止するための取組や、財産管理が難しくなった際の支援を行います。

**暮らしやすい地域のために  
（包括的・継続的ケアマネジメント支援）**

地域のケアマネジャーや関係機関と連携・協力し、暮らしやすい地域にするための体制づくりを行います。



**高齢者相談センター一覧**

センター名	電話番号	担当地区
東部第一高齢者相談センター	048-480-5853	池田・道場・片山・野寺
東部第二高齢者相談センター	048-480-7808	畑中・馬場・栄・新塚
西部高齢者相談センター	048-477-1707	本多・あたご・菅沢・野火止1~4丁目
西堀・新堀高齢者相談センター	042-497-8106	西堀・新堀
南部高齢者相談センター	048-487-8263	石神・堀ノ内・栗原
北部第一高齢者相談センター	048-486-5011	東北・東
野火止五~八丁目高齢者相談センター	048-485-8936	野火止5~8丁目
北部第二高齢者相談センター	048-485-8587	中野・大和田・新座・北野

言いたい放題 時事 呆言



「思い出に残る食べ物は？」



▶ マムシ丼 (通称「マムドン」) ◀

熱々のご飯を盛った白い丼ぶり鉢に、3cm幅くらいの鰻が3切れほど。一口噛むと甘辛い汁が口いっぱい広がる。さらに食べ進めると2切れの鰻が出てくる。歩いて10分ほどの、法善寺横丁か千日前あたりの小さな店だったと思う。今の鰻重とは比べ物にならない庶民の味。甘辛のつゆが混ざったごはんが大好きで、一粒も残さず食べた。この鰻丼をなぜかマムシ丼と読んでいた。そのためか、かなりの間マムシのことを蛇ではなくて鰻だと勘違いしていて、友人に大笑いされたこともある。今も鰻は大好きで、たれを味見しながら作り中国産の鰻をさっと煮てご飯にのせる。大阪はええとこやったなあ!! いや、ほんまに。

(マムドン大好き女 大和田82歳)

▶ ふるさと越後の柿の味 ◀

新潟県中越の田舎は豪雪地、60年以上も昔の事だが、藁葺き屋根の母屋と蔵がある実家の敷地に3本の柿の木があった。1本は渋柿で干し柿として食べた。他の2本は渋柿の木に接ぎ木名人のお父が甘柿を接ぎ木した。子供の頃、木登り名人の私は学校から帰ると木に登り、実った柿を木の上で得意げに食べていたものである。木は雪の重みで下に枝は無い。実は上から一度落下して気絶した事がある。それ以来学業成績が落ちたような気がしている。今は家の建て直し時に2本伐採したが、1本は残っている。近くの農家の柿の実が成っているのを見ると遠い昔の懐かしい絵が浮かんでくる。(気になる気になる木ですから 野火止74歳男)

▶ 駅の立売り「かしわめし」に郷愁 ◀

私は福岡(北九州)出身です。50代後半にこちらに来て10年、故郷の味は忘れられず、取り寄せて頂くことも多いです。その一つにかしわ(鶏)めしがあります。味御飯をしいた上に、かしわの煮物・海苔・錦糸卵を斜めにかけてあるシンプルなお弁当です。鹿児島本線小倉駅から20分ほど下った所に折尾駅があります。こじんまりした駅のホームで「かしわめし♪」と元気に売り歩くおじさんがいます。昔から木箱に入れたかしわめしを売る姿は今でも続いているとネットで知りました。頑張っているなあー。懐かしさと共に元気をもらえる思いがします。食べ物って心と体の糧ですね。

(風物を味わう女 野火止71歳)

▶ 空腹少年の記憶に残った鯨肉 ◀

学校給食の「鯨の竜田揚げ」を直ぐに思い出す。戦後直ぐの給食を色々言うが、子供のためにと考えられたメニューだったと思う。肉がたくさんあり、からっと揚げたおかずは秀逸で、一番人気だった。あとはコッペパンと脱脂粉乳。当時はこれで充分充分。

大人になると高度成長の大波にのり、贅沢にお金を使わせてもらった。相手もタメライナク接待の席に。ステーキハウス、ホテルダイニングルームと色々食べたが、やはり一番は自腹だ！ 転勤で出かけた新潟。老舗ホテルの「イタリア軒」そこで出会ったペッパーまみれのサイコロステーキ。これが秀逸だった。

(肉料理がイチバンの男 北野84歳)

▶ 一杯のかけそば ◀

運動クラブでへとへとになるまでしごかれた高校時代、帰る頃には必ずいい匂いが漂ってきた。体育館と教室のつなぎ廊下辺りにあった立ち食い蕎麦屋である。定時制高校生の為に設けられていたのだが、昼間の生徒も運が良ければありつけた。というも時間に限りがあり、蕎麦の数に限りがあったからである。クラブが終わると、長い廊下を全力疾走で蕎麦屋のカウンターに駆け込み、夏も冬も一杯15円のかけそばにありついたらよかった。蕎麦にありつけなかった時は、あの甘みのある醤油のにおいが腹ペコの若者には地獄のニオイとなった。立ち食いそば屋の前で今でもふと思いつく。(甘い汁を嗅ぎ分けて来た男 野火止77歳)

▶ 10人の大家族で手作りラーメン ◀

父がニワトリで鶏ガラを作る。麺は母の手作り。小学生時代の夕食の楽しみでした。

学校から帰ると鶏ガラスープを作る母が台所にいた。(やったー、夕食はラーメンだっ!) 私は手を洗い、骨に肉が少々ついた湯気の出ている鶏がらにむしゃぶりつく。もうお腹が満腹になった気がする。

夕食は10人の大家族でした。お祭りの日には兄の友達が数人来て、ラーメン屋食でにぎわいました。今でもときどき子供と(このときの光景を)話しています。母に感謝です。

(孤独のグルメより賑わう食卓が好き 野火止75歳女)

# 私の ゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

## Movie

(野火止7丁目 O.M.)

### 「シビル・ウォー アメリカ最後の日」

原題はCIVIL WAR。The Civil Warは南北戦争のことだが、このcivil war(内戦)は現代の話。昨年は大統領選挙を前に2大政党の支持勢力が激しく対立した。4年前はトランプが敗北を認めず、群衆による連邦議会襲撃事件まで起きていたので、この映画がアメリカでは切迫感があったようだ。脚本・監督はイギリス人のアレックス・ガーランド。映画は憲法を改正した3期目の大統領の演説から始まるが、既に19の州が連邦から離脱し、カリフォルニアとテキサスの同盟軍中心の西部勢力が大統領の政府軍を追い詰めている。この中を4人のジャーナリストチームが大統領を取材しようとニューヨークからワシントンDCまで行く。政府軍は敗れ、大統領は最後にジャーナリストにDon't kill me, please.と言ったあと射殺される。スクリーンはIMAXレーザーによる鮮やかな色彩とサウンドの効果で、登場人物たちと一緒に画面の中を進んでいく錯覚に陥った。



## Exhibition

(大和田5丁目 石井修)

### 「日本のゴーギャン、田中一村の絵に鳥肌」

孤高の画家「田中一村」の生涯を振り返る大回顧展が東京都美術館で昨年の9月19日～12月1日に開催された。年々人気も高まり、今回も連日長蛇の列。



幼少の頃から神童と言われて日本画の才能を發揮。後援者もいて作品も売れていたが、画壇には馴染めず、50歳の時に奄美にわたる。働きながらひたすら写生し絵を描き、無名のまま69歳で病死する。没後、奄美の自然を独特の画風で描いた日本画30点がNHK日曜美術館で取り上げられ、脚光を浴びた。40年前、私は「不食芋と蘇鐵」(くわすいもとそてつ)「アダンと海辺」などTVで知り、大胆な構図、色彩に鳥肌が立った。

この最晩年の大作2枚に彼はこう書き残している。「この作品は売りません。命を削って描いた、閻魔様えの土産物です」

## Paper craft

(野火止1丁目 松本民江)

### 料理店でひとめ惚れ

私とペーパークラフトとの出会いは若い頃、安曇野に行った料理店で食事をした時です。テーブルの上にさりげなく置かれていたお箸置き、お箸袋、爪楊枝入れに目を惹かれました。



手に取ってみるとお箸袋のカバーでした。

とても美しい両面の折り紙で丁寧に折ってあり「これは作ってみたい!」と

思いましたが、ちょっと難しそうな感じでした。お箸袋の裏に図説があったので貰って帰り、綺麗な包装紙や折り紙を集め夢中になって折っていたらどんどん増えてきて、今では友人や親戚にプレゼントしています。その時の笑顔が嬉しくて、せっせと楽しみながら今(81歳)でも作り続けています。

## Stone Walls

(野火止7丁目 大島直次)

### 血潮の城壁に汗まみれの組み石職人あり

とりわけて興味がある訳ではなかったが、このところ古城を見る機会があった。学生時代を城のある町で過ごしたが、「ああ、城があったね」といった認識しかなかった。仕事で行った大阪城も旅行で見た広島城も盛岡城も秀吉の一夜城跡も風景の中に溶け込んで通過したに過ぎなかった。



昨年夏に所用があって会津若松市を訪ね、鶴ヶ城を見学した。明治維新の「最後の砦」となった血なまぐさい悲惨な城くらいにしか思っていなかったのだが、その歴史の深さもさることながら石垣の組み石技術に目を見張った。あの巨大な自然石を組み上げた石垣は美術品のように美しく、血にまみれた歴史の表舞台だけではなく、汗にまみれて石積みを強いられた人々がいたことに感銘を受けた。

帰途、隣市の白河市小峰城にも立ち寄り同じ想いを抱いた。



# 私のふるさと

## 自由奔放な子供時代を過ごした伊丹市

畑中1丁目 綿引 孝之

大阪市と神戸市に近い伊丹市が私の生まれ故郷で、田園風景の広がる素朴な田

川辺の竹やぶでの蛸狩りなど、日の暮れるのを忘れて遊び惚けて親を心配させました。



猪名野神社の境内

特に戦国武将の荒木村重との関係が深い猪名野神社では鬼ごっこや、約3000坪もある境内の神社を3〜4週の駆けっこなど、本当に自由奔放な子供時代を過ごしました。

現在の伊丹市は隈研吾氏が設計した新市役所があり、大阪市と神戸市のベッドタウン化で非常に人気のある町になっていくようです。猪名野神社の境内などはあまり変化がないとの話があるものの、猪名川の河川敷などは開発が進み住宅化が進んでいるようです。

伊丹市の東側に猪名川、西側に武庫川があり、猪名川で川遊び、ウナギ取りや

子供時代の楽しい思い出の地域が町の発展とともに無くなりつつあるのは、非

常に寂しい気がいたしますが、伊丹市が発展して行く

# 我が忘れ得ぬ旅

## 2000キロ超で走るタクシーに膝がガクガク

東2丁目 小泉悦子

私の友人夫妻と私たち夫婦4人で知り合いがいるドイツに旅行した時のことです。ダツハウにベースを決めてその他の予定は一切決めないで、ミュンヘン空港に降り立ち、タクシーでダツハウに向かった。

どのくらいのスピードが出るのかドライバーに聞いた。するとドライバーは、おもむろにギアチェンジをした。車は滑るようになんぐんとスピードを上げて、メーターは200kmを超えていた。乗っていた我々は沈黙して、固まっていた。



ミュンヘン空港からアウトバーンを疾走

わずか15分位でホテルの玄関にピタッと止まった。ドアを開けてくれたドライバーは、「良い旅を」と言った。皆は、膝がガクガクしていた。これを皮切りに、7週間、経験したことのない失敗や、心温まる体験をすることになった。

私たちが訪れた時期は5月〜7月、街にはマロニエの花が咲き、麦畑は麦秋の時に一面黄色の世界。店先には、ホワイトアスパラやグリーンアスパラが出ており、民宿で自炊の時に食べたが、美味しくてやみつきになってしまった。ライン川沿いのホテルの



木彫りの街ミッテンヴァルド・ヴァイオリン工房にて。右端が筆者

# 再発見！ 美しき新座写真展

## 新部門 俳画写真

今年作品募集がそろそろ始まります。単写真は受け付けてみないと、どの様な方が、どんな写真で参加されるかがなかなか分かりません。ギリギリまで撮り続ける方もいます。

その点、俳画写真になると、ある程度判明します。

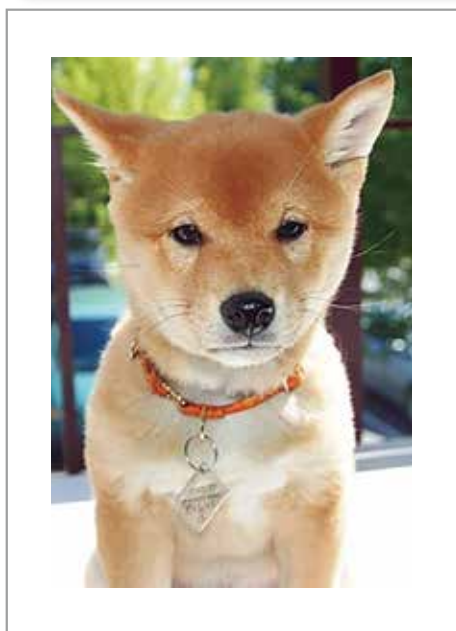
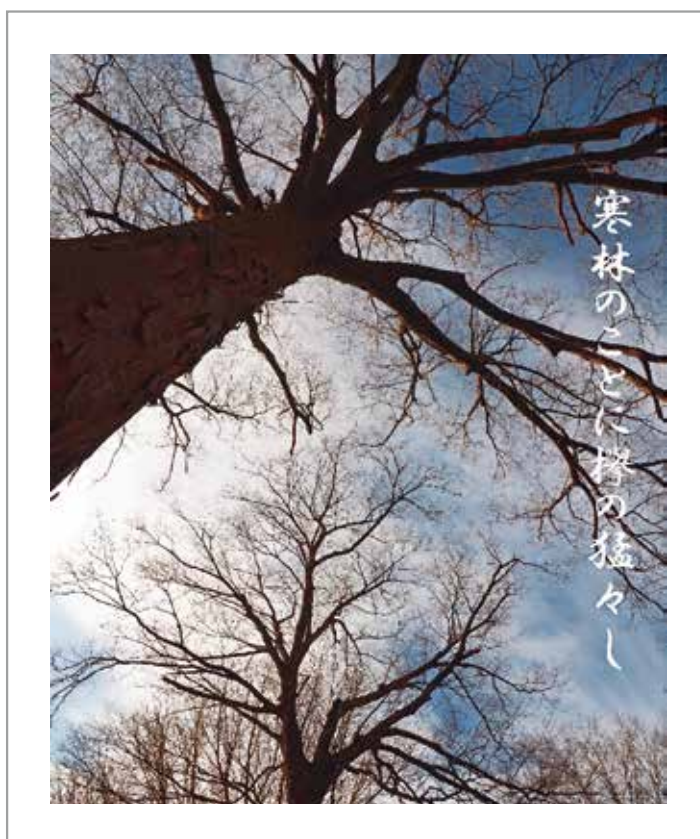
今年はやはり去年の倍近いものが応募されています。

色々な句と写真の組み合わせ。この俳句にこの写真で良いのか？など二度目の苦吟です。

考えた末に未提出の作品をご覧ください。作者の気持ちが分かりますね。



俳句としても写真との対話も充分に成り立っていると思えますが。推敲の結果なのでしょうね。



自分とは何か分からず老いの秋



# ▼親睦会だより▲

## 寒さに負けず 今年も頑張ろう

親睦会会長 後藤 勝義

新年明けまして

おめでとつございます

会員の皆様には健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。



後藤会長

新座市シルバー人材センターとの共催。親睦会は第二部担当で、豪華なお土産・恒例の福引大会・交流会です。コロナで五年間でできませんでしたが今回は開催します。ご期待ください。

### ●親睦会2回目文化祭開催

令和7年2月16日(日)ふるさと新座館ホール及び軽体育室Ⅱ昨年狭いとの指摘あり倍の広さを確保しました。

### ●スマホ講座第3回目

令和7年1月22日(水)と今年に入り2ヶ月で3事業もあります。

親睦会は皆さんの「絆を深め癒やされる場」となるよう願っております。会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 秋の日帰りバス旅行

11月4日(月) 39名・5日(火) 38名計77名の参加で、親睦会秋の日帰り旅行が行わ

れました。朝7時半には全員集合し、定刻通り新座を出発、房総半島の鋸山へ向かいました。



旅行の食事 館山の「磯料理」

4日は、天気も良く朝の渋滞もなく順調に進んだようですが、5日は曇天で交通渋滞もあり予定を変更。最初に小泉酒造に寄り、お酒のできるまでの説明を受け、その後、飲み放題なので皆さん大いに堪能したようです。小泉酒造を後にして、次の行程の鋸山日本寺へと向かいました。

ですが行くことができませんでした。その後、漁師料理「たてやま」で昼食をとり、磯料理に舌鼓うちました。満足な時間を過ごしました。

続いて道の駅「枇杷倶楽部」に寄りそれぞれお土産を購入、帰路につきました

帰りのバスの中ではビンゴ大会になり、ビンゴになるたび皆で拍手をし、おめでとつの大声で盛り上げて楽しく過ごしました。

今回も大きな事故も、集合時間に遅れる人もなく、無事に帰宅の途につきました。(実行委員長 井出 竹安)

### サークル紹介 硬式テニスサークル 「シルセン」

当サークルは、シルバー人材センターの会員を中心として楽しくテニスプレーをモットーに会員相互の親睦と健康増進を図り、地域との交流に努めています。現在メンバーは9名です。



テニスサークルのメンバー



大仏前で集合写真

活動は新座市営テニスコートの西堀コートが中心です。メンバーにはLINEにて予約確定後に連絡。費用等は参加者等分負担としております。皆さんも一緒に楽しみませんか？ (鈴木久雄)

# 理事会報告

## 第6回 (9月30日開催)

① 8月分の実績について報告された。

② 公益社団法人新座市シルバー人材センター配分金規程の一部を改正する規程が決定された。

③ 正会員 (9月分) 男性8名、女性4名、合計12名の新規正会員の入会が承認された。

## 第8回 (11月29日開催)

の新規正会員の入会が承認された。

① 10月分の実績について報告された。

② 令和6年度中間監査について報告された。

③ フリーランス法への対応について報告された。

④ 正会員 (11月分) 男性10名、女性9名、合計19名の新規正会員の入会が承認された。

【11月末日現在 1,671名】

## 地区活動のトリセツ

地区活動はセンター事業運営に於いて高齢者就業と共に重要な位置を占めています。

しかし、地区によっては行動に混乱が生じている場面が見られますので、改めて運営基準 (内規) を掲載しておきますので、参考にしてください。

第1条 (目的) 「自主的・主体的な組織活動を担う」

基礎的組織として、地区及び班を設置し (現在、9ブロック、28地区、117班) 会員相互の連帯意識と親睦を基調にセンター事業の円滑な運営に寄与する」となっています。

## 第3条 (地区・班の役割等)

地区活動の内容については、懇話会の開催、社会奉仕活動の展開、センター情報の伝達及び資料等の配布、親睦会事業への協力等々8項目の指針が示されている。

第5条 (地区長・地区委員の任務) 地区活動を積極的に推進しセンター事業運営に協力する、とあり、地区長・地区委員 (班長) が協働して行うとしている。

## 第8条 (社会奉仕活動)

平成18年にスタートした地域児童見守り活動や平成26年に実施された清掃ボランティア活動等があり、地区単独で行う場合や学校、町内会等近隣地区との連携した活動があり、現在では毎年10月に全国

SCが一斉に行う全国統一ボランティア活動に繋がっている。

(内規の抜粋・要約)

## 【表紙の呟き】

「最寄りの駅シリーズ」最終回は東武東上線の「志木駅」です。「志木」は「志楽木」の略称で、朝鮮新羅 (しらぎ) の国名から来ているそうです。

志木駅は大正3年5月1日に開設され、今年で112年を迎えます。4年前の南口周辺再開発で、駅前は大きく変貌しました。開設前の駅周辺は放置された自転車で大変な様相でしたが、ロータリーの下に地下駐輪場ができ、今は整然とした街並みになりました。市内では数少ないスクランブル交差点があります。(館)

世界規模の酷暑で農作物も不作が続く、日本では「令和の米騒動」と目され、「闇バイト」なる怪しい事件のニュースも話題に。海外でもスーパー台風や戦争が続き、世界中が、地球が一体どうなるのか。人の心も壊れてきているかと心配になります。

今年こそ少しでも穏やかな一年でありますように。ゆうゆう通信も皆様からの投稿やご協力を頂きながら、それぞれの体調管理に気をつけて、充実した通信を届けられるように頑張ります。(小泉)

## 訃報

山口 勝美様 (81歳)

畑中1丁目

若林 聡様 (70歳)

野寺2丁目

吉田 隆三様 (74歳)

野火止6丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

昨年は災害が多く、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様の元気が取り戻せますように心から願うものです。